

オロオムシ

【校是】『やさしく かしく ねばり強く』



居小ホームページ ご覧下さい
この QR コードを携帯電話で読み込むと、居小の日々の様子をご覧頂けます。

居小児童のがんばりが感じられた前期でした

居武士小学校長 辻 和彦

「おはようございます！」

「今日は、ちょっと暑いですね。」

「この服、買ってもらったんだよ。」

「今日、僕の誕生日！」

「疲れた～」(頑張って歩いてきてのつぶやき)

朝、校門近くで子どもたちとあいさつをしていると、子どもたちからもいろいろなお話を聞かせてもらうことができます。毎日、元気に登校してきた子どもたちと、いろいろとお話することができ、うれしく充実した時間を過ごすことができています。



前期は、97日(5年生は96日)の登校日がありました。欠席も少なく、ほとんどの日を全校児童みんなで楽しく過ごすことができました。子どもたちが毎日元気に過ごせるよう、ご家庭でもいろいろとご配慮いただけたかと思います。ありがとうございます。前期を振り返り、大きく4つのことについてお伝えいたします。

1 みんな元気に意欲的に学校生活を送ることができました。

授業ではしっかり学習に取り組み、休み時間には体育館で元気いっぱいに遊んだり、教室で楽しく友達とお話ししたりしている様子がみられます。前期の児童アンケート結果からも子どもたち自身が自分たちの取組を肯定的に捉えていることがわかります。今年度の学校重点目標は「ぐんぐんのばそう！じぶんの力！」です。このことを踏まえて、年度当初から、「ぜひ、自分がやってみたいな、がんばってみたいなということを思い切ってやってみてほしいです。」と子どもたちに繰り返し伝えていきます。実際の学校生活でも、例えば、算数の文章問題を考える際に、どのような解き方をすればよいかお互いの考えを出し合いながら、解決にむかったり、自分の興味があることについて詳しく調べたり、インタビューしたりして新聞にまとめたりといった意欲的な取組が多数見られます。そして、「何事にも、積極的にチャレンジしている」というアンケート項目では、全員が「特にそう思う」または「そう思う」のどちらかを回答しています。実際にいろいろな事に積極的にチャレンジし、そのことを肯定的に捉えられていることはとても素晴らしいことです。後期も引き続き、そのような子どもたちの意欲的な取組を引き出し、見守り、支援し、伸ばしていきます。



2 異学年交流や体験学習を通して学びを深めました。

4月に共に転任してきた教職員と一緒に実感したのは、子どもたちの「元気なあいさつ」です。居小の子どもたちにとっては当たり前の自然なことかもしれませんが、子どもたちも教職員も、1人1人に対して自然にあいさつを交わすことができています。地域の方からや、来校された方からも「子どもたちがしっかりあいさつできていて気持ちがいいですね。」と声かけいただくことも多いです。

「異学年の自然な関わり」もできています。社会にでると、職場等では異年齢の集団で過ごすことが当たり前になりますが、居小の子どもたちは、小学校段階で、日常的に下級生や上級生、そして担任以外の教職員とも関わる機会が日常的にあります。その関わりの中で、気づきがあり、学びにつながることがあります。



「行事等での主体的な取組」も印象に残っています。教員の事前指導はもちろん行っていますが、全校朝会の司会や各種行事の進行は、高学年児童が責任をもって行っています。毎日の掃除も縦割りで行っており、自然と声かけ合い、協力し合っている様子が見られます。運動会に向けてのがんばりは本当に素晴らしいものでした。紅白それぞれの主体的な練習に取り組む態度は、学校行事の取組ではありましたが、相手意識、目的意識を持って各種目でよりよい成績になるために言葉をかけ合う姿は、国語の「話すこと・聞くこと」の力や、道徳的实践力の向上を感じました。



「充実した体験学習・校外学習」を行うことができました。少人数のよさを生かし、1人1人がじっくり体験することができます。7月に実施した「川遊び」では全校児童で水の冷たさを感じながら、魚やエビなど、川にいる生き物を探して楽しい時間を過ごすことができました。5、6年生が北見農業試験場に出かけた際には、品種改良を行う際の受粉体験をさせていただくなど、貴重な学びの機会をいただきました。陶芸教室では、地域の方に教えていただき素敵な作品を成形できました。この後、釉薬をかけて完成させる予定です。3、4年生は社会科で地域に関わる学習も行いますので、ゴミ処理場や浄水場の見学や、北網圏文化センターでのプラネタリウム見学に出かける等校外に出かけて学ぶ機会が多数ありました。1、2年生は、買い物体験に出かけたり、歩いて出かけて校区探検をしたりしました。この後、ぶどう収穫体験等にも出かける予定があります。校外での活動にはなりますが、「ふれあいコンサート」での経験も子どもたちにとってとても貴重な素晴らしいものだと考えています。野外ステージで歌ったり、演奏したりできるのは本当に感動的な体験です。実行委員会みなさんに心から感謝したいと思います。後期も、子どもたちの学びの充実のために、充実した体験学習を行うことができればと考えています。



3 学力についても一人一人のがんばりが感じられました。

各学級の授業の様子を見に行くと、いつも意欲的に、時には前のめりになって学びに取り組んでいる子どもたちの様子が目に入ってきます。

「これは、こうやって考えたらいいか？」

「〇〇さんは、こう考えたんだよね。」

「じゃあ、こうしてみたらいいかな？」

このように、子どもたち同士で対話しながら課題解決に取り組む様子を何度も見ました。



また、じっくりと考えて学びに集中していることも多いです。

新聞づくりのために文章を考えて書いていたり、クロームブックを活用して自分の考えをまとめていたり、「書くこと」についても、様々な方法で取り組んで、一人一人が自分の力を伸ばしているところです。算数でも、計算練習などに熱心に取り組むと共に、文章問題等では、時に相談しあいながら、「早く、簡単、正確に」解くためにはどのような方法がよいか考えることができています。

居武士小学校の子どもたちの学習のがんばりについては、全道の子どもたちが取り組んでいる「ほっかいどうチャレンジテスト」の結果からもわかります。詳しく分析していくと、「難しい問題に対してもあきらめず、じっくりと時間をかけて考え抜くことができて」「無回答の問題がほとんどない」というよさがあることがわかりました。このようなよさをさらに伸ばしながら、一人一人の学習状況をしっかり把握し、指導に努めて参ります。

4 居小の今後に向けた取組も推進しています。

訓子府小学校との交流については、6年生の修学旅行とその事前交流学习、5年生の宿泊学習とその事前交流学习、3、4年生のコーンレンジャー、1、2年生の川遊びに取り組みました。5、6年生の事前交流では、授業に参加すると共に、給食も一緒に食べる機会を設けるなど、訓子府小学校の協力を得ながら充実を図っています。また、すでにお知らせいたしましたが、今年度は体育の授業について合同で行う機会を設けることとしております。交流活動については、日常の活動と合わせて学校ブログでお知らせしております。ぜひご覧ください。

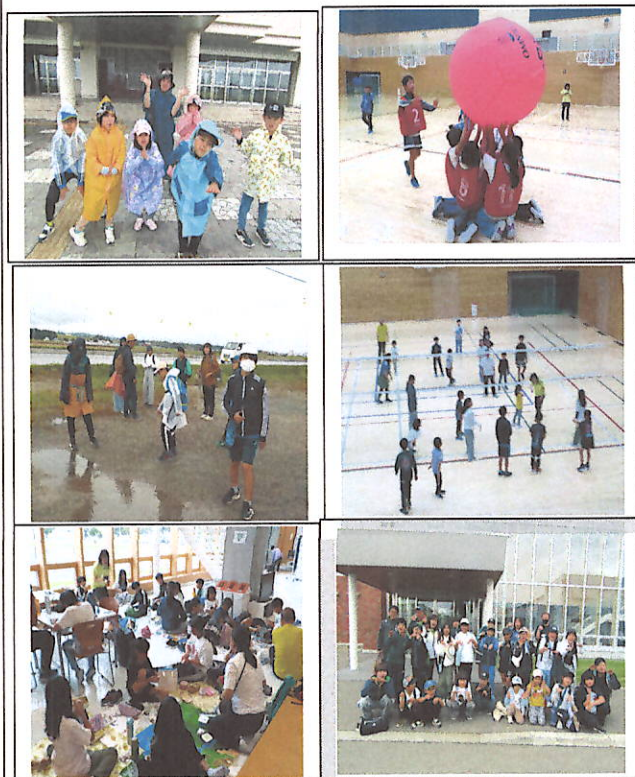


閉校に向けた取組については、6月と7月に百周年以降の歴代後援会長等による打合せ会議を実施いたしました。ご参加いただきました皆様からは、「今、実際に居武士小学校に通っている子どもたちや保護者にとって思い出に残る取組ができればよい。」「卒業生や地域のみなさんと一緒に思い出を語れる場があるとよい。」「学校を見学できる機会があるとよい。」などのご意見をいただいたところです。11月には、閉校記念事業協賛会準備委員会の1回目の会議実施を予定しております。保護者の皆様、地域の皆様も何かご意見、ご要望等ございましたらぜひ学校までご連絡をいただければと思います。

居武士小学校教職員10名は、直接子どもたちの指導に関わる教諭、養護教諭、支援講師はもちろん、事務職員、管理人、教頭、校長、教職員全員が居武士小学校の子どもたちのよりよい成長のために、それぞれの業務に取り組んでおります。職員室でも、子どもたちの様子を交流しながら、日々子どもたちにどのような関わりで伸ばすことができるのか対話を続けております。とてもチームワークのよい教職員集団です。後期も引き続き「チーム居小」として、教職員全員が一丸となって居武士の子どもたちのために取り組んで参ります。保護者の皆様、地域の皆様、日頃から本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

とっても楽しかった遠足

9月4日(金)小雨の中、全校でスポーツセンターに行きました。1・2年生は訓子府高校から1.3km、3・4年生は訓子府高校から2.6km、5・6年生は本校から5.2kmを歩きました。スポーツセンターの中で思い思いに遊び、午後からはみんなでミニバレーやキンボールをして大変盛り上がりました。とても楽しい遠足になりました。



宿泊学習

9月9日(水)・10日(木)の2日間、ネイパル北見での宿泊学習に5年生3名が行ってきました。宿泊学習は、訓小の同級生と一緒に活動したり、寝食を共にしたりすることで交流を深めることも目的の一つとなっています。帰校した時は、みんな大変満足した表情でした。素敵な思い出をいっぱいつくることのできたのではないのでしょうか。



～ご協力ありがとうございました～

- ・朝の読み聞かせ会
 - …古沢美佳さん
 - …伊藤道子さん
 - …谷本春代さん
 - …川戸洋子さん
- ・秋の交通安全街頭指導
 - …後援会の皆様
- ・陶芸教室
 - …井幡美智子さん
 - …美馬律子さん

学芸会

現在、子ども達は、学芸会の器楽の練習を頑張っています。今年はどんな曲を演奏するのでしょうか？音楽室からは、毎日練習する音が響いています。また、10月からは、各学級の演目の練習も本格的に始まります。子ども達のがんばりをぜひご覧ください。

日時：10月31日(土)

会場：居武士小学校体育館

開場：8時から

入口：体育館玄関

開演：8時45分

終演：11時00分(予定)

10月行事予定表

- | | |
|--------|---------------|
| 3日(土) | 秋のロードレース大会 |
| 8日(木) | 朝の読み聞かせ会 |
| 22日(木) | 5時間授業(係打ち合わせ) |
| 27日(火) | 5時間授業(係打ち合わせ) |
| 28日(水) | 学芸会児童観覧日 |
| 30日(金) | 前日準備 |
| | 1・2年生4時間授業 |

居武士小学校 令和8年度前期学校評価について

保護者アンケート結果から

- ① 「授業参観などから、学習のきまりを守って勉強しようとする子どもの意識が見られる。」
「学校は児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらを伸ばすように努めている」の項目は、とても高評価だった。
- ② 「家庭では、朝食を必ず摂ることやゲームをする時間、学習時間など生活リズムについて話合っている。」の項目も高評価だった。
- ③ 「子どもは、図書館（学校図書館、移動図書含む）を利用するなどして、本を手に入る機会がある」の項目は約8割の上位評価だった。
- ④ 「学校は、幼・小・中学校との連携を取り、交流学习など教育活動の充実に努めている」の項目は約7割の上位評価だった。
「学校は、学校運営協議会と連携して教育活動を推進している。」は、約8割の上位評価だった。

今後に向けて

- ◎子どもたちは図書館（学校図書館、移動図書含む）を利用するなどして、本を手に入る機会はあるが、家庭でも読書を行うよう学校として働きかけを図っていく。
- ◎今後も継続して幼・小・中学校との連携を取り、交流学习など教育活動の充実に努めていく。
- ◎不審者情報や、クマの目撃情報があった際には、素早い保護者への情報提供に努め、安全対策を講じた。今後も、引き続き危機管理マニュアルに基づき適切な対応を続けていく。

学校運営協議会居武士小学校部会から

- ① 子どもたちは地域の方にもしっかりとあいさつしている。地域の方も子どもたちの見守りを行ってくれている。社会に出てもあいさつは大切なので、子どもたちには継続してほしい。
- ② 子どもたちは本に触れる機会は多くある。居武士小学校は町の図書館と連携してよい取り組みをしていると思う。

今後に向けて

- ◎作物栽培、野外コンサート演奏支援、スケート学習支援、木育への協力等これまでも多くの場面で地域の協力を得ている。引き続き、学校・家庭・地域が連携した取り組みを推進していきたい。

児童アンケート結果から

- ① 相手や場を考えて、自分の考えを自分の言葉で伝えることができるようになっている。
- ② クロームブックを使って学習に取り組むことができている。
- ③ 何事にも、積極的にチャレンジしている。
- ④ 学校生活のきまりを守っている。

今後に向けて

- ◎今年度の学校重点目標「ぐんぐんのばそう！じぶんの力！」について繰り返し児童に伝え、引き続き、自分の考えを自分の言葉で伝えることや、何事にも積極的にチャレンジすることを推奨していく。

教職員アンケート結果から

- ① 子どもたちは、一人ひとりの活動の高まりを認め合うこと（共感的理解）により、自己存在感や有用感を実感してきている。
- ② 「宿題や家庭学習を継続し、復習や予習。発展的な学習に取り組んでいる」「日常的な体力づくりにより、運動に対する意欲、体力に高まりが見られる」の評価が高かった。
- ③ 1人1台端末を利活用した学習活動の充実に取り組むことができている。
- ④ 「基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底」の項目は約6割の上位評価だった。
- ⑤ 「研修と関連した板書・ノート指導、読み書き計算の重視及び言語活動の充実に、基礎基本の力や表現力が育っている。」の項目は約6割の上位評価だった。

今後に向けて

- ◎基本的な学習ルールについては、全学級で共通した取り組み（次の授業の準備をしてから休み時間とするなど）を行い、今後も、学習ルールの徹底を図っていく。

- ◎板書・ノート指導、読み書き計算の重視及び言語活動の充実に、基礎基本の力や表現力が身に付くよう授業改善を行っていく。

令和8年度居武士小学校学校評価結果(前期)

項目	No.	職員評価項目	前期	R7後期	保護者評価項目	前期	R7後期	児童評価項目	前期	R7後期
目指す子どもの姿	1	子どもたちは、3つの「あ」(気持ちの良い挨拶・自分の身を守る安全・生活にけじめをつける後始末)に努めている。	○	◎	子どもは、家でも、学校でも、地域でも、挨拶や安全、生活にけじめをつける後始末に氣をつけて生活している。	◎	◎	自分からあいさつをしている。	◎	◎
	2	基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底により、子どもたちの規範意識に高まりが見られる。	○	◎	授業参観などから、学習のきまりを守って勉強しようとする子どもの意識が見られる。	◎	◎	授業中は、次のことをがんばり一生懸命勉強している。 相手や場を考えて、自分の考えを自分の言葉で伝えることができる。 友達と協力して学ぶことができる。 自分の考えを「具体的に書く」ことができる。 学校生活のきまりを守っている。	◎	◎
	3	研修と関連した板書・ノート指導、読み書き計算の重視、言語活動の充実により、基礎基本の力や主体的に学ぶ力が育ってきた。	○	◎	子どもは、学校での勉強が分かりやすいと言っている。 子どもは、読み書き計算を中心に基礎的基本的な学力や表現力を身につけている。	◎	◎	学校での勉強は分かりやすい。	◎	◎
	4	子どもたちは、朝読・昼読・家読に進んで取り組んでいる。	○	○				進んで本を読んでいる。	○	○
	5	子どもたちは、宿題や家庭学習を継続し、復習や予習、発展的な学習などに取り組んでいる。	◎	◎	子どもは、家庭(みつばちクラブ等を含む)で学習する習慣が身につけている。	◎	◎	毎日、宿題や家庭学習に取り組んでいる。	◎	◎
	6	日常的な体力づくりにより、運動に対する意欲、体力に高まりが見られる。	◎	◎	子どもは、健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。	◎	◎	クロームブックを使って学習に取り組んでいる。	◎	◎
	7	子どもたちは、一人ひとりの活動の高まりを認め合うこと(共感的理解)により、自己存在感や有用感を実感してきている。	◎	◎	学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している。 学校は、児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらを伸ばすように努めている。 子どもは自己存在感や有用感を感じ、学校生活を楽しんでいる。 学校生活や家庭生活を通して、自分や人のよさを認め、大切に心が育ってきている。	◎	◎	歩いて登校したり、体を使って遊んだりしている。 困った時や悩んだ時、先生はきちんと相談にのってくれる。 何事にも積極的にチャレンジしている。 学校に行くのは楽しい。	◎	◎
	8	月毎、教科毎にバランスのよい授業時数を確保し、適切に指導している。	◎	◎				自分のよい所を学習や生活に生かしている。	◎	◎
	9	研修活動に主体的に取り組み、指導方法の工夫改善に努めている。	◎	◎						
	10	1人1台端末を活用した学習活動の充実に取り組んでいる。	◎	◎						
教育活動等	11	道徳の時間はもとより、全教育活動を通じて道徳教育の充実を図るとともに、いじめを許さない学校風土の醸成に努めている。	◎	◎	学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している。	◎	◎	仲間はずれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にしている。	◎	◎
	12	集団の一員としての自覚、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成のため、学級活動や学校行事、児童会活動等の充実を図っている。	◎	◎						
	13	各分掌が連携を取り、効率的に学校運営を進めている。	◎	◎						
組織運営	14	教務を中心に学校運営に参画できている。	◎	◎						
	15	教材・備品・図書等について計画的に整備が進められている。	◎	◎						
環境育	16	町内幼・小・中・高校と相互交流を深めるとともに、必要に応じて教育機関との連携に心がけている。	◎	◎	学校は、幼・小・中学校と連携を取り、交流学習や教育活動の充実に努めている。	○	◎			
	17				学校は、学校運営協議会と連携して教育活動を推進している。	○	◎			
教職員の育成	18	人事評価シートの目標が適切であり、改善に向けて努力している。	◎	◎						
	19	効率的な業務推進に努めている。	◎	◎						
	20	服務規律を遵守している。	◎	◎						
家庭教育	21				子どもは、図書館(学校図書館、移動図書含む)を利用するなどして、本を手にする機会がある。	○	△			

◎～80%以上 ○～65%以上80%未満 △65%未満